

情報科教育法Ⅱ

担当教員： 奥村 稔

2単位

設 題

次ページ以降の問題を解くこと。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ

通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
次ページ以降の問題文のあとにある専用解答用紙の表を自作して解答すること

筆 記

筆記用具：ボールペン（黒色）・鉛筆・シャープペンシル（HB・B）、「サインペン・筆ペン」の使用は認めない
用 紙：次ページ以降の問題文のあとにある専用解答用紙を印刷して使用すること

注意事項

丁寧に読みやすい字体で書くこと。

情報科教育法Ⅱ レポート課題(2024)

教科書及び学習用プリントを参照して、以下の文章の（ ）内に入れるべき最も適切な語句を解答用紙に記入し、提出せよ。

(1) で深い学びの実現に向けた授業改善のために、配慮しなければならないことについて考える。

まず、(2) な学習活動の充実が求められる。単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で(3) を育成することで、その実現を図る。その際、情報に関する(4) を働かせ、(5) を活用して問題を発見し主体的、協働的に制作や討論等を行うことを通して解決策を考えるなどを行う。

次に、学習の基盤となる(6) を更に高めるとともに他の各教科・科目等との(7) を図ることが求められる。この能力が中学校までの各教科等において、(8) 的な視点から育成されてきたことを踏まえ、情報科の学習を通してさらに高めるようにすることである。

各科目の履修に関しては、以下の事項に配慮する必要がある。

「情報Ⅰ」は共通(9)として、また「情報Ⅱ」は発展的な(10)として、高等学校における情報教育の内容として標準単位数(11)の科目として構成されている。すなわち、これらの各科目の履修に当たっては、(12)などの実践的・体験的な学習活動を通して各科目の目標を達成するように配慮し、指導の効果を高めるためには、複数年次にわたって各年次1単位で(13)させるよりも、同一年次で集中的に履修させる方が効果的である。各科目は原則としてそれぞれを同一年次に位置付けることにする。

「情報Ⅱ」は、「情報Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とする。なお、ここで定めている各科目の(14)は、この教科の(15)に基づき、後に履修する科目の内容が前に履修する科目の内容を前提として定められていることによるものである。

(16)等との関連を図ることも求められる。(17)及び(18)などについては、(19)についての特段の(20)や共通教科情報科との(21)が明記されるなど、他の教科・科目にはない取扱いがなされている。それらの内容を十分汲み取り、教科の目標に即した(22)のとれた指導が行われるよう留意する。

(23)のある生徒などへの指導にも配慮が必要である。

学習指導を行う場合に生じる(24)に応じた指導内容や指導方法の工夫を(25)、(26)に行うことである。(27)教育システムの構築を目指し、生徒の(28)

と（２９）を一層推進していくためには、学習活動を行う場合に個々の生徒が抱く多くの異なった困難さに留意し、個々の生徒に応じた工夫をする。

学習指導要領の目標及び内容が、（３０）の３つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「（３１）」「（３２）」「（３３）」の３観点到整理された。

「（３１）」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「知識・理解」「技能」においても重視してきたところである。具体的な評価方法としては、例えばペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮するなどの（３４）を図ることが考えられる。また、生徒が（３５）による説明をしたり、各教科等の内容の特質に応じて（３６）や（３７）をしたり、（３８）や（３９）で表現したりするなど、実際に知識や技能を用いる場面を設けるなどして多様な方法を適切に取り入れていくことなどが考えられる。

「（３２）」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「（３２）」においても重視してきたところである。具体的な評価方法としては、（４０）のみならず、（４１）や（４２）の作成、（４３）、グループでの（４４）、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めた（４５）を活用したりするなどの評価方法に対する工夫が考えられる。

「（３３）」の評価の考え方は、ノートやレポート等における（４６）、授業中の（４７）、教師による（４８）や、生徒による（４９）や（５０）の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどである。その際、各教科等の特質に応じて、生徒の発達段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「（３１）」や「（３２）」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う必要がある。

情報科教育法Ⅱ レポート課題(2024) 解答用紙

1		26	
2		27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	